

ポケット型補聴器 ポツケsel2 ME-240 / ME-241

取扱説明書

- お買いいただきましてありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの、正しくお使いください。
- この取扱説明書は保証書を兼ねていますので、紛失しないよう必ず保管してください。



No.472220111

ME-240：イヤホン PH120、PY100 (オプション別売り)【**重度難聴適応**】
ME-241：イヤホン W100【**高度難聴適応**】

医療機器認証番号 304AGBZX00003000
 mimy 株式会社三和製作所

保証書

本書は、記載内容および保証規定に基づいて無料修理をお約束するものです。所定の事項をご記入の上、大切に保管してください。お買上の日から下記期間中故障が発生した場合に保証規定により無料修理いたします。

型名	ME-240/ME-241			お	ご住所
保証期間	ご購入日より 1年間				
ご購入日	年	月	日	客	お名前
取扱販売店	住所	店名	電話		

株式会社三和製作所
メディケアカンパニー ミミー電子事業部
 〒190-0003 東京都立川市栄町 6-16-1 TEL:042-538-3316 FAX:042-538-3317

保証規定

- 取扱説明書に従った正しい使用状態で保証期間内に故障が生じた場合3～4項に該当する場合を除き無料修理いたします。
- 保証期間中に故障が生じた場合は、本保証書に現品を添えて、販売店もしくはサポートセンターにご持参またはお送りください。ご持参の際の交通費や送料等はお客様の負担にてお願いいたします。
- 保証期間においても、次の場合は有料修理となります。
 - 保証書記載欄にお客様のお名前、ご住所、お買上年月日の記載のない場合。
 - 取扱説明書によらない使い方や不当な修理や改造による故障および損傷の場合
 - 天災、地震、火災、盗難などの不可抗力による故障および損傷の場合
 - お買上後の落下や水没などによる故障および損傷の場合
- 電池、耳せん、イヤホンコードなど、本体以外の部品は消耗品とみなし、保証期間内であっても保証の対象といたしません。
- この保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、本書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等のご不明な点は、販売店またはサポートセンターにご連絡ください。
- ご記入いただいた個人情報につきましては、修理の際の必要事項を確認するためのみに利用いたします。他の目的で利用することはありません。

この補聴器のご使用について

- 次のような方は、ご使用になれない場合があります。まずは医師と相談の上ご使用ください。

- ・耳の手術を受けたことがある方。
- ・耳だれのある方。 ・耳あかの多い方。
- ・急性、または慢性のめまいがある方。
- ・外耳道に湿疹や痛み、不快感などがある方。
- ・過去 90 日以内に突発性難聴や進行性の聴力低下があった方。
- ・過去 90 日以内にどちらかの耳に聴力低下があった方。

故障かな？と思ったら

- 修理に出す前に必ずお読みください。

症状	原因	対処方法
音が出ない	・電池消耗 ・電池を入れる向きが違う ・イヤホンコードの断線 ・MTスイッチがTになっている	・新しい電池を入れる ・電池の＋の向きを合わせて入れ直す ・新しいイヤホンコードと交換する ・MTスイッチをMにする
音が小さい	・電池消耗 ・耳栓に耳垢が詰まっている	・新しい電池を入れる ・耳せんの耳垢を掃除する
音質がおかしい	・聞き取り調整の位置が不適當	・聞き取り調整の位置を変えてみる
ピーピーという音がする(ハウリング)	・耳穴に耳せんがびったり入っていない ・音量が大きすぎる ・マイクロホンとイヤホンの距離が近すぎる	・耳せんを入れなおしてみる ・耳せんの大きさを変える ・音量を下げる ・マイクロホンとイヤホンを離す
雑音が出る音が途切れる	・イヤホンコードの断線 ・イヤホンコード先端のピンの接触不良(汚れ) ・電池の+、-接触面の汚れ	・新しいイヤホンコードと交換する ・イヤホンコード先端のピン部分を拭く ・電池の+、-接触面を拭く

これらの対処で直らないときは、まずは販売店または補聴器サポートセンターへお問い合わせください。

補聴器サポートセンター

ご購入後の修理や点検のご用命、別売品・消耗品のお求め、調整方法についてのご相談(病院でもらう聴力検査表をご用意ください。)など、補聴器に関することは、何でもお気軽にご相談ください。

株式会社三和製作所
 メディケアカンパニー ミミー電子事業部
補聴器サポートセンター
 〒190-0003 東京都立川市栄町 6-16-1
TEL：042-538-5733
FAX：042-538-3317
<http://www.mimy.co.jp>

受付時間 10：00～17：00 月～金(祝祭日除く)

都合によりお休みをいただきます。受付時間帯を変更させていただきますことがありますのでご了承ください。

項目	公称値			許容差	
	ME-240	ME-241			
90dB入力最大出力音圧レベル	ピーク値	136dB	135dB	131dB	+3dB 以下
	HFA	130dB	132dB	124dB	±4dB
最大音響利得	ピーク値	75dB	75dB	66dB	+3dB 以下
	HFA	68dB	71dB	63dB	±5dB
等価入力雑音レベル		25dB	23dB	24dB	+3dB 以下
	500Hz	4%	4%	4%	+3% 以下
全周調波ひずみ	800Hz	4%	4%	4%	+3% 以下
	1600Hz	4%	4%	4%	+3% 以下
電池の電流		4mA	4mA	4mA	+20% 以下
誘導体入力最大感度レベル	HFA	99dB	101dB	94dB	±6dB

使用電池	単4アルカリ電池(LR03)		
電池寿命	約 300 時間		
本体の大きさ	W50×H80×D20 (mm)		
重さ	約 60g (電池、イヤホン、コード、耳せん含む)		
電撃保護	内部電源機器	B 形装着部	
分類	IPX0	AP/APG 類機器ではない	連続動作機器
使用温湿度(使用環境)	10～40℃, 30～85%RH, 80k～106kPa		
輸送及び保管環境	-10～50℃,30～90%RH,50k～106kPa		

性能及び仕様

使
い
か
た
は
裏
面
を
ご
覧
く
だ
さ
い
。

安全上のご注意

- ここに示した警告サインと図記号の例は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
- 表示と意味は次のようになっています。

警告 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり*物的損害の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋、家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

図記号の例

記号は禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、 の中や近くに文章や絵で示します。

記号は強制(必ず守ること)を示します。具体的な強制内容は、 の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は一般的な強制を示します。

警告

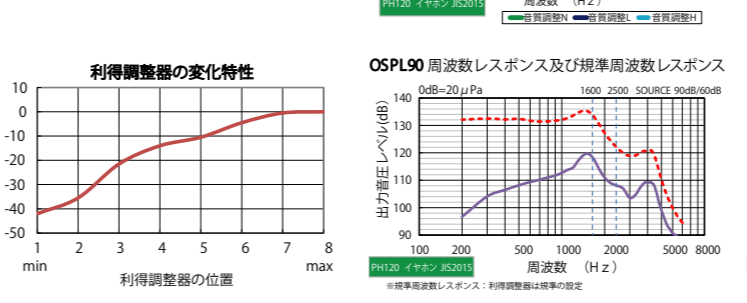
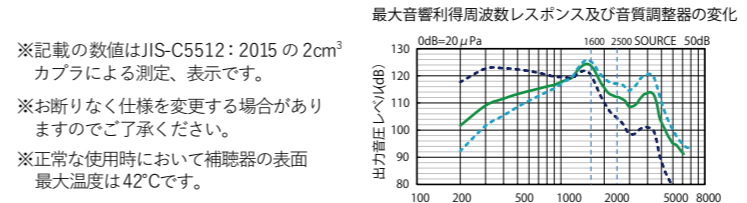
- ・次のような方は、医師の指導を受けてからお使いください。事故や体調不良の原因になります。
 - ・お子様が使用するとき。
 - ・耳の治療を受けている方、治療したことのある方。
- ・次のような症状が表れたときは本製品の使用を中止し、すぐに医師にご相談ください。症状の悪化の原因になります。
 - ・本製品と接する皮膚がかぶれたり湿疹ができたとき。(本製品の皮膚に接する部分には炎症を起こしにくい材料を使用していますが、体質によっては稀にかぶれや湿疹が生じることがあります。)
 - ・使用中に耳だれが生じたり、何らかの事情で耳の治療が必要になったとき。
 - ・以前に比べ耳の聞こえが悪くなったとき。
- ・耳せん、電池等は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が飲み込む恐れがあります。飲み込んだときはすぐに医師の治療を受けてください。

本製品は132dBを超える音圧レベルの出力が可能です、補聴器装着者の残存聴力を害する危険性があります。

- ・必要以上に大きな音で聞かないでください。耳を痛める原因になります。
- ・イヤホンコードやネックストラップを装着したまま就寝しないでください。首に巻き付いて窒息する恐れがあります。
- ・可燃性麻醉剤雰囲気、高酸素濃度雰囲気での使用はしないでください。

注意

- ・イヤホンコードやネックストラップを持って振り回さないでください。事故やトラブルの原因になります。
- ・イヤホンコードを強く引っ張ったり、操作部に巻き付けたりしないでください。イヤホンコードが断線する可能性があります。
- ・イヤホン交換する際はプラグの先端をむやみに触らないでください。
- ・ペットが触れる範囲に置かないでください。遊んだり、かじったりして故障やトラブルの原因になります。



注意

- ・補聴器はあなたの聞こえを元に戻すものではありません。使い始めは音量を小さめにしてお使いください。大きすぎる音で聞いたり、耳に合わない使い方をすると耳を痛める原因になります。
- ・MRI(磁気共鳴画像診断装置)の診断を受ける時やマイクロ波治療器などの電磁波を利用した装置を使用して治療する場合は本製品を外してください。けがや故障の原因になります。
- ・電池の+、-極を正しく入れてください。補聴器が動作しません。場合によっては発熱や液漏れ、破裂などにより本製品の破損やけがの原因になります。
- ・指定の電池を使用してください。発熱や液漏れ、破裂などにより本製品の破損やけがの原因になります。
- ・外出の際は交換用の電池をお持ちください。事故やトラブルの原因になります。
- ・長期間(3ヵ月以上)使用しないときは電池を取り外してください。また、使用済みの電池はすぐに取り外し、新しいものと交換してください。液漏れなどにより本製品の破損やけがの原因になります。
- ・音量調整は他人にまかせず自分で行ってください。他人が行うと適切な調整ができず、耳を傷める原因になります。

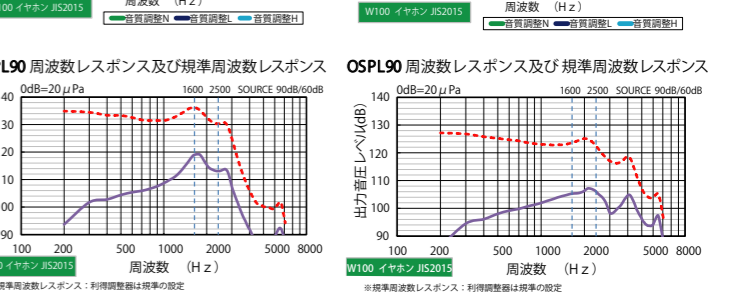
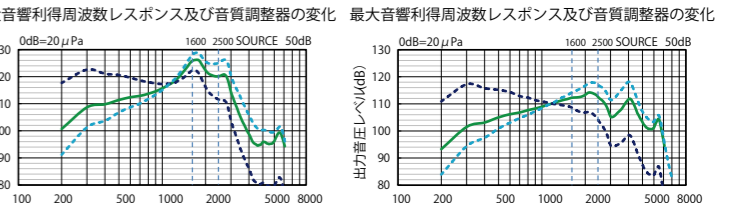
電池を加熱したり火の中に入れてたりしないでください。破裂などによりけがの原因になります。

- ・他人に本製品を貸したり他人から借りたりしないでください。耳に合わず耳を傷めたり耳の病気が感染する原因になります。
- ・本製品を取扱説明書記載以外の方法では使用しないでください。事故や故障の原因になります。
- ・乳幼児や自分で意思表示できない人に使用しないでください。事故やトラブルの原因になります。

お願い

ご使用いただくときは以下の項目に注意してください。故障の原因になります。

- ・激しい運動をするときは本製品を使用しないでください。
- ・ズボンの後ろポケットなど大きな力が加わる箇所への本体の収納はお控ください。
- ・洗面所や道路など落とすと壊れやすい場所での補聴器の付け外しは行わないでください。
- ・補聴器装着時、ヘアスプレーや香水など気化するものは使用しないでください。入浴時や洗顔時は外し、濡れたテーブルなどに置かないようにしてください。突如の雨や台風のときもご注意ください。
- ・衣類が汗などで濡れているときは、胸ポケットに入れて使用しないでください。
- ・温度の高いところ(ストーブのそば、車の中など)に置かないでください。
- ・電子レンジ、食器乾燥機、ドライヤーなどの電機乾燥機で乾燥させないでください。
- ・分解や改造は行わないでください。また、マイク、イヤホンや内部を針やマッチ棒でつつかないでください。
- ・本体に強いショックを与えたり、落としたり踏んだりしないでください。
- ・プラグを無理に差し込まないでください。
- ・本体を水で濡らさないでください。濡らした場合は点検を依頼してください。
- ・磁気を発するものには近づけないでください。一部の携帯電話やコードレス電話では使用する際に補聴器に雑音が入ることがあります。その場合は携帯電話やコードレス電話を使用しないでください。
- ・ご不要になった補聴器は電池を取り出してから不燃物として処理してください。使用済みの電池はお住まいの市区町村の指導に従って処分してください。



① 電池を入れます。

使用する電池は
単4乾電池1本です。

本体側面のくぼみに指先をかけてトップカバーを開き電池の+と-の向きを合わせて入れ、カバーを閉めます。

※ トップカバーを閉める時はイヤホンコードを挟まないよう注意してください。

* 電池寿命はアルカリ電池使用時で約300時間です。(連続使用時間) 電池寿命は、使用する電池の種類や使用条件で変わります。

* トップカバーは電池交換の時以外は特に開閉する必要はありません。

* 3ヶ月以上補聴器を使用しない時は電池を取り出してください。

* 電池の+と-の向きを間違えないようにしてください。

* 電池はメーカーによって多少大きさが異なる為、出し入れしにくいものがあります。



❗ 万一、電池が破損し、電解液が皮膚に触れた時は、すぐに水洗いしてください。

② MT 切換スイッチを M にします。

出荷時は M になっています。

スイッチを M にすると通常の使用モード、T にすると磁気ループ装置の受信モードになります。

詳しくは「M・T スwitch を T にして使うには」の項をお読みください。

③ イヤホンコードを補聴器に取り付けます。

イヤホンコードのプラグを「各部の名称」にある図の様に補聴器本体のイヤホンジャックに差し込みます。

※ コードにはイヤホン・ジョイント・耳せんが付いています。

* イヤホンコードの取り付け、取り外しを行うときは必ず電源を切ってください。

❗ イヤホンコードを本体に強く巻き付けたり、引っ張ったりしないでください。

④ イヤホンを耳に入れます。

耳たぶを後ろの方に引っ張ると耳穴がひろがり入れやすくなります。

出荷時には、サイズ(中)の耳せんが付いています。大きすぎて耳穴に合わない時は、付属の耳せん(小)に取り替えてください。

* 耳せんに耳垢が詰まると音が聞こえにくくなったり、イヤホン故障の原因にもなります。
* イヤホンは、落としたり、ぶついたりすると性能が劣化します。お取り扱いには十分ご注意ください。

❗ 体質によっては、まれに痒み・かぶれを生じることがあります。皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を中止し、専門医にご相談ください。

⑤ 電源を入れます。

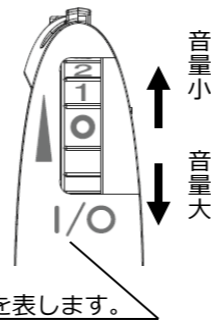
電源 SW 付き・音量ボリュームは「O」が電源 OFF (切) です。

音量大の方向へ回すとカチッと音がして電源が入り、音量が徐々に大きくなります。「8」が最大です。

電源の「入/切」を表します。

* 使用しない時は必ず電源 SW 付き・音量ボリュームを「O」(OFF、切)にしてください。このボリュームの位置を1~8 (ON、入) にしておくと電池消耗が早まります。

❗ 長時間連続してお使いになると耳の疲労の為に言葉が聞きにくくなる場合があります。その時はご使用を中止してください。



⑥ 音質を調整します。

テレビの音や会話を聞きながら音質調整器(スライドボリューム)をゆっくり動かして言葉をはっきり聞こえる位置に合わせます。

(N) の位置は低音と高音のバランスがほぼ同じになります。
(H) 側に動かすと高音が強くなります。
(L) 側に動かすと低音が強くなります。



※出力制限器 (OPC) について

◎ 出力制限器は、必要以上に大きな音を出さないように制限をかける部品です。通常はそのままご使用ください。

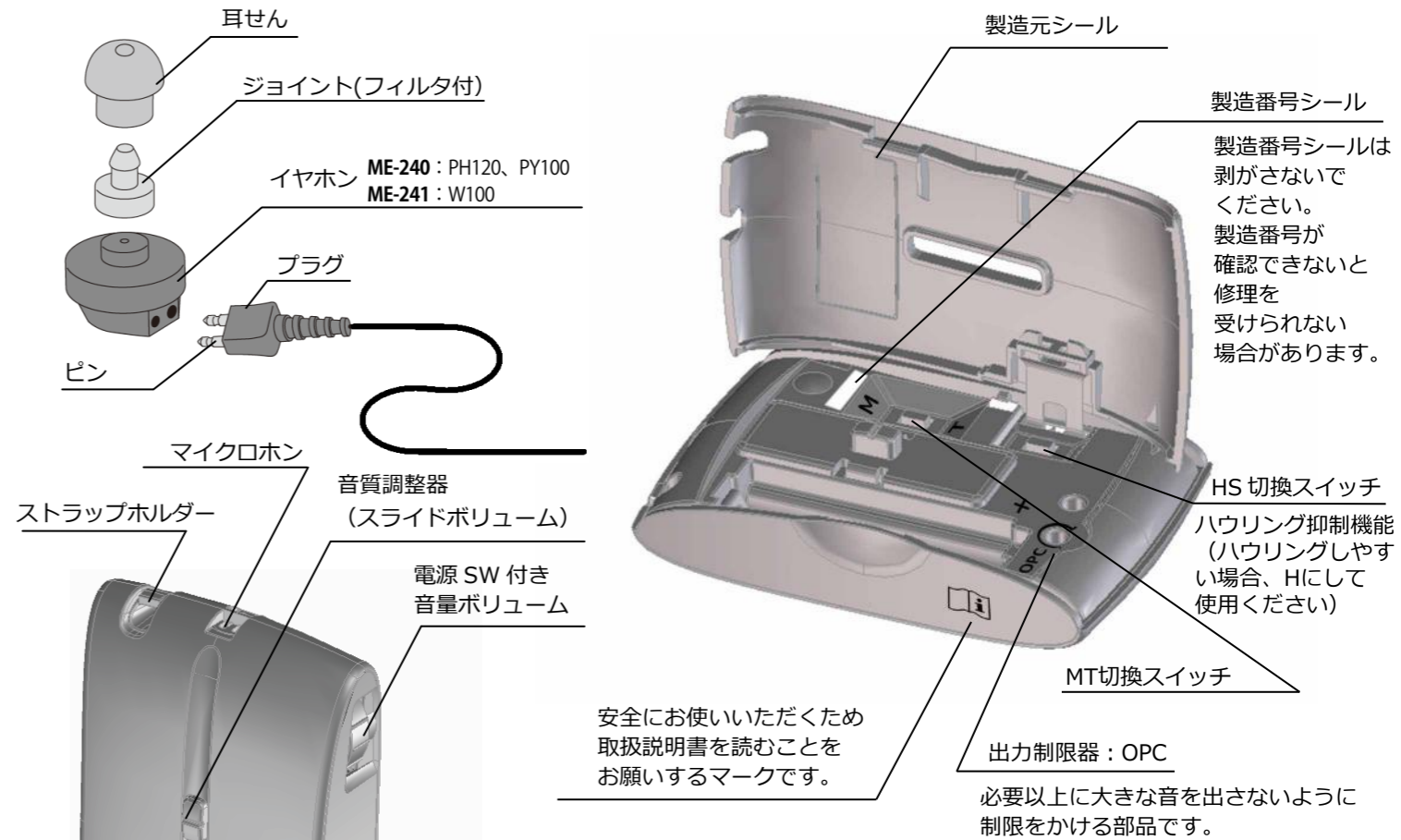
◎ 購入時の状態では音が小さすぎるとき、または大きすぎるときには付属のマイナスイヤホンコードをご使用ください。

出荷時・・・▲印の位置です
大きくしたいとき・・・出荷時マークよりも右側に回す
小さくしたいとき・・・出荷時マークよりも左側に回す

❗ 出力制限器を回すときはゆっくりと回してください。強く押さえつけたり、最大、最小の位置で無理に力をかけると壊れる恐れがあります。

補聴器の上手な使いかた

1. はじめて補聴器を使う時には、テレビやラジオのニュース番組を普通の音量にし、アナウンサーの音がちょうど良く聞こえるよう補聴器の音量調整器を調整し、言葉を聞く練習をしてください。
2. 人と話す時は、向かい合って普通の声の大きさをゆっくりと話してもらうようにしてください。
3. 電話をかける時は、補聴器本体の上部にあるマイクロホンを受話器に近づけて会話をしてください。



安全にお使いいただくため取扱説明書を読むことを願います。

必要以上に大きな音を出さないように制限をかける部品です。

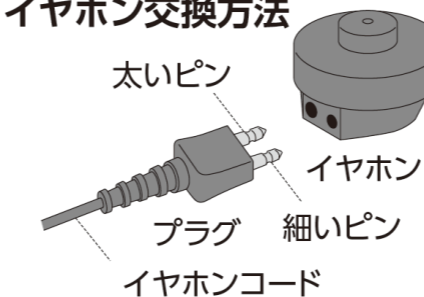
M・T スwitch を T にして使うには

磁気ループ装置が設置されている講演会場や教室等で、M・T スwitch を (T) にすると磁気ループ装置につながっているマイクで話す講演者の声が聞こえます。



M・T スwitch を (T) にしてテレビ、ラジオ等についているヘッドホン端子に別売のポケットループ (L-01) のプラグを差し込み、補聴器の下にポケットループを置くとテレビ、ラジオ等の音声が聞こえます。

イヤホン交換方法



※ピンの太さと穴の大きさを合わせて差し込んでください。

※プラグの先端は鋭利ですので取扱いに気をつけてください。

お手入れ

- イヤホンから耳せんを取り外し、耳せんだけをぬるま湯で洗い、乾いた布できれいに拭いてください。
- 耳せんは消耗品です。変色したり、固くなった時は新しいものと交換してください。
- 本体、イヤホンは柔らかい布で汗や汚れをよく拭いてください。
- イヤホンコードのプラグに汚れが付くと雑音の原因になります。ときどき外して柔らかい布で拭いてください。

付属品 / オプション

付 属 品	
単4乾電池	1本
耳せん(中・小) *中はイヤホンについています	各1個
イヤホンコード	1本
イヤホン 黒 *イヤホンコードについています ME-240: PH120、PY100 ME-241: W100 (1オプション)	1個
ジョイント(フィルタ付き) *イヤホンについています	1個
ネックストラップ	1本
マイナスイヤホンコード	1本